

目的を明確にした対話活動を位置付けている

書く内容を明らかにするために、ペアで質問し合う



目的を明確にした対話活動【手だて】
書く内容を明らかにするためにペアで質問し合う

〈授業者の声掛け〉

ペアがすらすらとあらすじが書けるように、ペアに質問をしましょう。

このようなことを質問したいですね。

〈黒板に提示した質問項目〉

- ・何のことについて書くの？
- ・どうしてそのことを書こうと思ったの？
- ・主人公はどんな人？
- ・主人公以外、どんな人が登場するの？
- ・主人公は、どんな気持ちがどんな気持ちに変わるの？
- ・主人公の気持ちが変わるきっかけとしては、何が起こるの？

これ以外でもペアの回答を聞きながら、書く内容が明らかになるように、質問するといいですね。

〈実際の対話活動の様子〉

生徒B 何のことについて書くの？

生徒A 陸上大会のことにしようかな。

生徒B 走り高跳びに出場したよね。本番前はどんな気持ちだった？

生徒A なんか、バーがものすごく高く見えて跳べる気がしなかった。不安しかなかった。

生徒B でも、入賞できたよね。何か変わるきっかけがあったの？

生徒A 家族や友達のおかげかな。

生徒B どうして？

生徒A あの時、「肩の力を抜いて。練習通り」って声をかけてくれて。

書く内容を明らかにしている

〈対話活動の後に生徒Aが書いた物語のあらすじ〉

- ・陸上大会の走り高跳びの競技中
- ・周りの人がみんな上手い
- ・跳ぶのが怖くなった
- ・家族や友達に応援された（きっかけ）
- ・落ち着いた 不安を忘れていた
- ・全力で競技することができた
- ・自信がついた

アクティブ・ラーニングの視点による授業改善のポイント

目的を明確にした対話活動【手だて】

- ・対話活動の目的を明確にします。本時の授業での対話活動の目的は、ペア同士が互いの書く内容を明らかにすることです。この目的を生徒と共有してから、対話活動を行います。
- ・あらかじめ質問項目を提示しますが、上記の目的が達成されるように、質問項目以外のことを質問したり、ペアの回答に対する追質問をしたりするように声掛けをします。
- ・書く前に人に話しをすることで、自分が書こうとする内容を明らかにすることができます。